

# 気胸で入院された患者さんの治療内容に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究に協力します。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2026年5月21日～2027年3月31日

## 〔研究課題〕

第二回 本邦における気胸治療の実態調査：多施設共同後方視的研究

〔研究目的〕 気胸(肺に穴が開いて空気が漏れ、肺がしぼんでしまう病気)は、呼吸器の病気の中でも比較的多く経験されますが、その治療方法は施設によって異なり、患者さんごとの病状に応じた適切な治療法が十分に確立されていません。本研究は、全国の多くの施設で気胸により入院された患者さんの診療情報を集め、退院時の状態(転帰)を中心に、わが国における気胸治療の実態を明らかにすることを目的としています。

〔研究意義〕 全国の多くの施設から症例を集めて気胸治療の実態を明らかにすることで、今後の治療方針の見直しや診療ガイドラインの作成に役立つ重要なデータが得られます。これは将来の気胸患者さんの診療の質の向上につながると考えられます。

〔対象・研究方法〕 2024年4月1日から2025年3月31日までの間に、当院で気胸と診断されて入院治療を受けられた患者さん(外傷性気胸、医原性気胸、新生児気胸の方は除きます)が対象です。すでに通常診療の中で得られているカルテの情報やDPCデータから、患者さんの背景、病状、治療内容、退院時の状態などを後から調べる方法(後ろ向き観察研究)で行います。本研究のために新たに検査や治療を行うことはなく、患者さんに新たなご負担やリスクが生じることはありません。

## 〔研究機関名〕

本研究は日本気胸・嚢胞性肺疾患学会が主導する多施設共同研究です。

研究代表者は、澤端章好(日本気胸・嚢胞性肺疾患学会 学術委員会委員長/川西市総合医療センター呼吸器外科)です。

帝京大学医学部附属病院は、既存の診療情報を提供する施設として参加します。

〔個人情報の取り扱い〕 収集する情報は、お名前など個人を特定できる情報を含めない形(症例報告書)に置き換えて取り扱います。患者さんを識別する番号はカルテIDと規則性のない番号で管理し、対照表は当院内で厳重に保管します。研究事務局(前橋赤十字病院呼吸器外科)へデータを送付する際は、ファイルにパスワードを設定するなど、情報が外部に漏れないよう安全管理を行います。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への提供をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問い合わせ先

提供担当者：氏名 山内 良兼 職名 准教授  
所属：医学部外科学講座  
住所：東京都板橋区加賀 2-11-1  
TEL： 03-3964-1211(代表)